

# 東海経済レポート

## （2019 年 1 月）

### ～景気は底堅さを残しつつも、拡大ペースが鈍化～

#### 【足元の経済情勢と当面の見通し】

- ◇ 東海経済は全体として底堅さを維持しているものの、その成長・拡大ペースには鈍化が見られる。企業部門では、生産や輸出が一定の水準を保っているが、前年比でみた伸び率は徐々に低下している。家計部門では、良好な雇用環境の下、個人消費が引き続き堅調に推移している。
- 生産は、11 月の鉱工業生産指数が前月比▲1.4%と、2 ヶ月ぶりの低下となった。業種別では、電子部品・デバイス工業は前月比増産となったものの、輸送機械や電気機械など他業種の多くが減産となった。
- 設備投資は、2018 年 7-9 月期の大企業の投資額が前年比+1.0%と 2 四半期連続の増加で、引き続き製造業の伸びが全体を支えた。金属工作機械の受注は、当地区主要 8 社の国内受注額が 11 月に同+7.7%と 16 ヶ月連続のプラスとなり、なかでも自動車工業からの受注増（同+30.2%）が全体を牽引している。
- 輸出額（円ベース）は、12 月に前年比▲2.3%と 23 ヶ月ぶりの減少となった。高水準であった前年の反動もあり、米国向けが同 2 桁減となったほか、中国向けも 10 ヶ月ぶりに同マイナスとなっている。品目別では、自動車と自動車部品が揃って前年比減となった。
- 労働市場では需給の引き締まった状態が継続している。11 月の有効求人倍率は、岐阜県で上昇した一方、愛知県、三重県は前月と不変となっている。水準的には各県とも引き続き高位にある。
- 個人消費関連では、11 月の小売主要 3 業態の販売が前年比▲0.8%と 6 ヶ月ぶりの減少となった。業態別では、コンビニは前年を上回ったものの、百貨店が 5 ヶ月連続の減少となったうえ、スーパーも 13 ヶ月ぶりのマイナスに転じた。一方、11 月の新車販売台数は同+6.5%と、2 ヶ月連続の増加となった。
- 住宅着工戸数は、11 月に年率換算 9.3 万戸、前年比▲9.9%と 2 ヶ月ぶりの減少となった。持家が前年比増加となったものの、貸家と分譲マンション、分譲戸建ての減少が全体を押し下げた。

### 【生産①】

11月の鉱工業生産は前月比▲1.4%と、2ヵ月ぶりの低下。前年比でも伸び率は鈍化傾向。

鉱工業生産指数

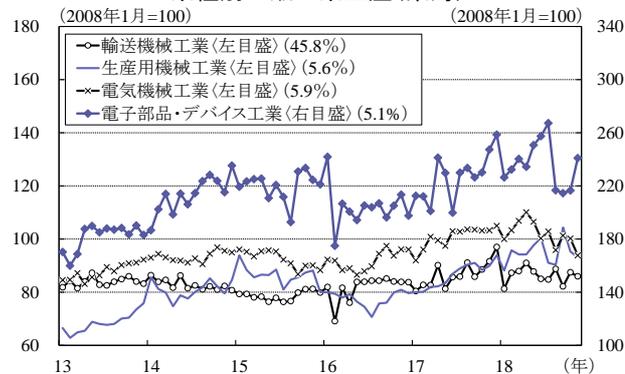


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【生産②】

電子部品・デバイス工業が前月比増産となったが、その他の主要業種は多くが減産。

業種別の鉱工業生産(東海)

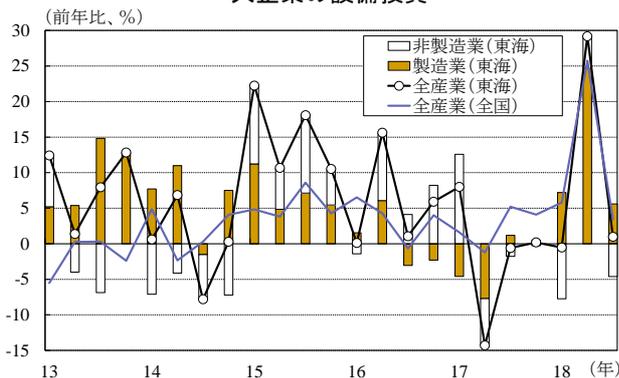


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
2.( )内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成27年基準)。  
中部経済産業局算出  
(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【設備投資】

7-9月期の大企業の設備投資は前年比+1.0%と2四半期連続で増加。製造業の伸びが全体を下支えした。

大企業の設備投資

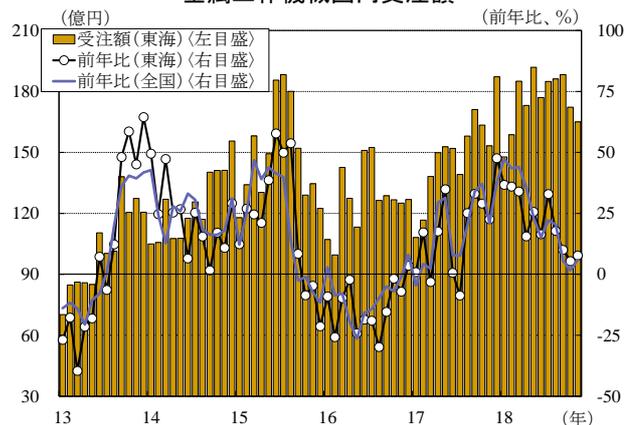


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。  
2.資本金10億円以上の企業を対象。  
3.設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。  
(資料)東海財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【金属工作機械受注(国内)】

金属工作機械の国内受注額(当地区内の主要8社)は11月に前年比+7.7%と、16ヵ月連続の増加。

金属工作機械国内受注額

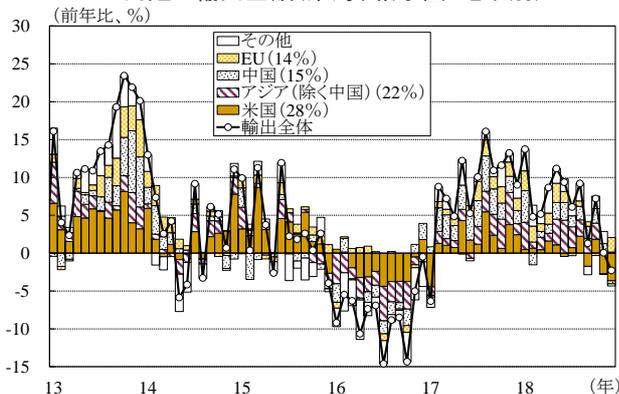


(注)『東海』は中部経済産業局管内の主要8社。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【輸出】

12月の輸出額(円ベース)は前年比▲2.3%と23ヵ月ぶりの減少。米国、中国向けが前年比減少。

円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)

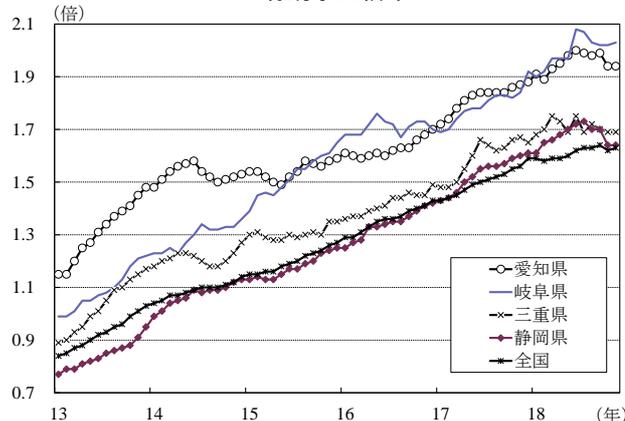


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。  
2.( )内の数値は2017年輸出総額に占めるシェア。  
(資料)名古屋税関統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【雇用】

11月の有効求人倍率は岐阜県で上昇。愛知県、三重県は横ばい。水準は3県ともに高位を維持。

有効求人倍率

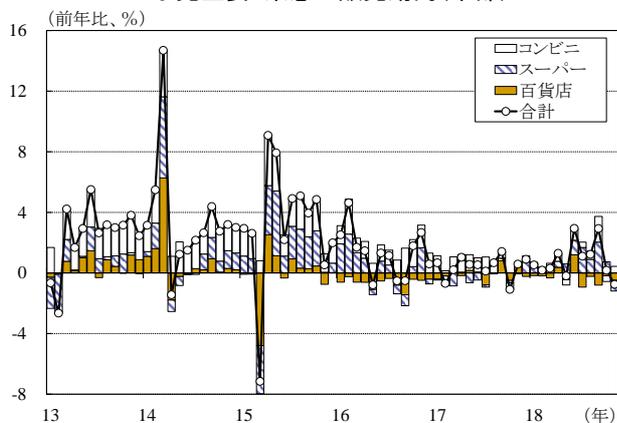


(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【個人消費】

11月の小売主要3業態の販売は前年比▲0.8%と6ヵ月ぶりの減少。スーパーが13ヵ月ぶりに前年割れ。

小売主要3業態の販売動向(中部)

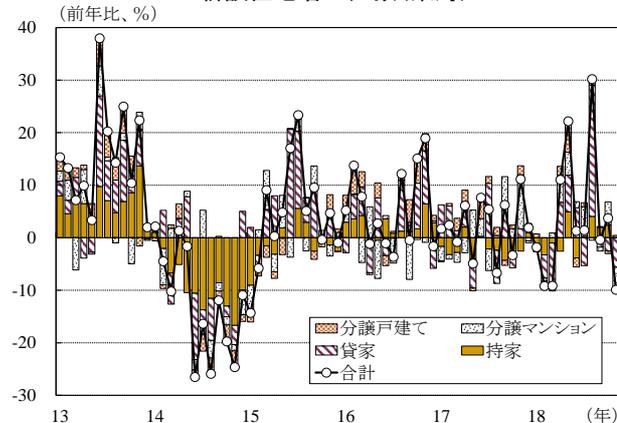


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【住宅投資】

11月の住宅着工戸数は年率換算9.3万戸、前年比▲9.9%。貸家、分譲マンション・戸建てが減少。

新設住宅着工戸数(東海)

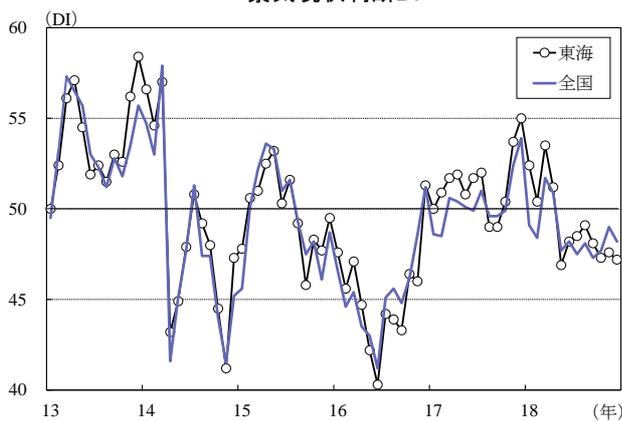


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)国土交通省東海より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【景気ウォッチャー調査】

12月の現状判断DIは47.2と、2ヵ月ぶりの低下。好不調の分かれ目となる50以下の水準が継続。

景気現状判断DI

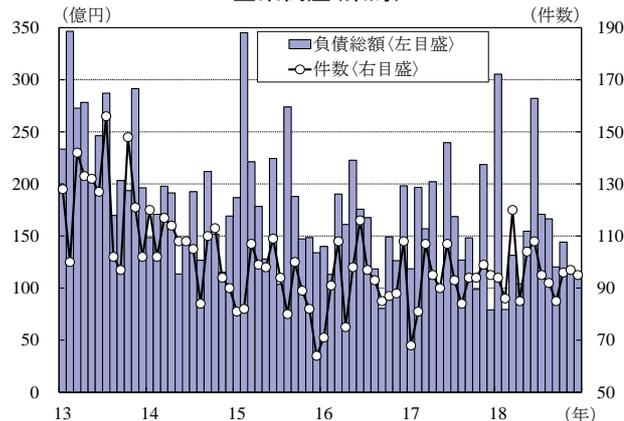


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。  
(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【倒産件数】

12月の企業倒産件数は95件で、前年と変わらず。負債総額は110億円で、前年比+40.3%の増加。

企業倒産(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。  
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【原油価格】

WTI先物は、1バレル40ドル台まで低下後、協調減産による需給改善期待等もあって同50ドル台回復。

原油価格

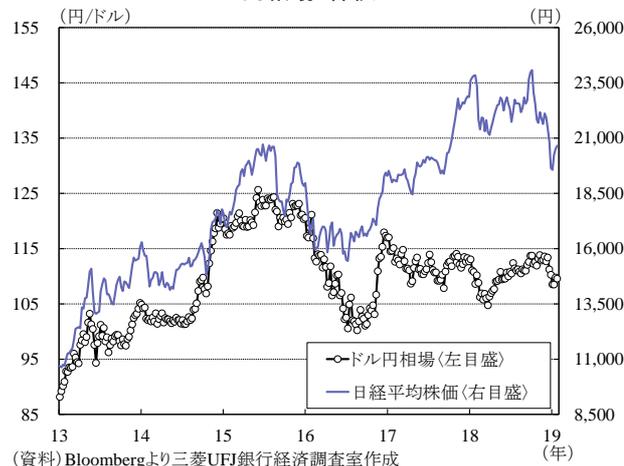


(注)『原油価格』はWTI先物。  
(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【円相場・株価】

為替相場は、年初のリスク回避の円高から、徐々に円安方向。本邦株価も、不安定ながら回復の動き。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱 UFJ 銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko\_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。